

対話を重視した授業改革と



ICTの有効活用についてvol.1



石狩管内では、今年度、子どもの未来保障のために、管内教育推進の重点として、「資質・能力の確実な育成」、「資質・能力を育成するICT活用の充実」、「地域総がかりによる子どもの資質・能力の育成」の3点に取り組んでいます。

各学校においては、全ての子どもに必要な資質・能力を身に付けさせるため、対話を重視した授業改革とICTの有効活用について、日常の授業を中心に取組を進めていただいているところですが、石狩教育局では、各学校の授業改革に向けた取組をサポートするため、対話を位置付けた授業づくりやICTを活用した実践事例を、本通信やWebページ等への掲載を通じて、情報提供します。

各学校においては、日常の授業や研修等で本資料を積極的に御活用ください。

石狩管内における対話を重視した授業改革とICTの有効活用の実践事例

千歳市立駒里小学校 第2学年 算数



端末を用いながら、説明し合う場面を設定し、振り返りでは、友達の考えでいいなと思ったことや学んだことを発表する場面を位置付けていました。

石狩市立花川南中学校 第1学年 社会



モンゴルとエジプトの人々の生活の工夫について、端末を用いながら調べ、グループで対話をしながら、調べたことをまとめる姿が見られました。

恵庭市立恵み野中学校 第2学年 数学



問題の答えではなく、互いに対話を通して、解き方を説明し合っている事例です。自分で考えた解き方を端末で撮影し、全体で共有しています。

江別市立中央中学校 第2学年 技術



店頭に並ぶ商品と同等のミニトマトの育成に向けて、事前に調べた事柄に疑問が生じた際、その場で調べ直し、対話を通して改善点を伝えています。

対話やICTの実践事例については、今後も、本通信やWebページで定期的に情報提供していきます。提供いただける実践事例がありましたら、石狩教育局までお知らせください。